

公立大学法人青森公立大学内部監査報告書に関する意見書

2022年9月5日

公立大学法人青森公立大学

内部監査班長 様

公立大学法人青森公立大学

監事 石田 恒久

2022年8月31日付で報告があった2022年度の内部監査結果報告書に対する意見等は、次のとおりです。

記

【意見等】

全般的に、同報告書9項にまとめられているとおり、概ね適正に履行されていると認められた。

(1) 公的研究費等の外部資金に関する事項について、二点の指摘のうち、

ア 一点目の教員に認められている立替払いの運用面について

報告書のとおり、軽微な指摘事項が複数見られた。いずれも「青森公立大学公的研究費ハンドブック2022年度版」の運用の細かい規程が守られていないものであるが、研修会等を通じて、一層周知徹底される必要がある。

イ 二点目の見積競争の調書に関する事項について

見積辞退届の様式について、現状の任意の様式はやむを得ないところがあり、これを改善とした場合、辞退届の提出側への要請であることから、事務局全体で統一見解を取りまとめ、提出側の業者等に統一様式を要請し、周知いただくことが必要であろう。

(2) 帳簿及び証拠書類に関する事項

報告書のとおり、特に問題とする誤りは認められず、概ね適正に執行していることが認められる。

ただ、簡易な誤りは、指摘の通り複数確認されたが、いずれも内部監査班による適切な指導により修正されており、今後コンプライアンスを充実する地道な取り組みを一層進めることにより、一掃することは容易と思料される。

なお、監査全体を通して、公立大学法人青森公立大学における公的研究費の不正防止計画が適切に実施されていることを確認した。

以上

公立大学法人青森公立大学内部監査報告書に関する意見書

2022年 9 月 1 日

公立大学法人青森公立大学

内部監査班長 様

公立大学法人青森公立大学

監事 米田孝嗣

2022年8月31日付で報告があった2022年度の内部監査結果報告書に対する意見等は、次のとおりです。

記

【意見等】

2022年8月3日から8月26日の日程で行われた内部監査報告書の説明を受けた。

毎年度実施されている〔公的研究費等の外部資金に関する事項〕及び年度別実地の〔帳簿及び証拠書類に関する事項〕重点として被監査組織等は事務局の全チームと教員3名での報告でした。

内部監査確認事項（報告書）内容においても年々監査の精度が上がっていると見受けられる。

厳格な監査によって、受ける側としても日常の記録、記帳を正確にそして整理整頓をして保存しておくことの重要性が再認識されることである。

今後ともそれが継続して慣例化され継続して行くことを望みます。

今回の内部監査報告も〔不正防止計画が適切に実地されているこしを確認した。〕